



令和4年7月1日 発行

蒸し暑い日々が続いていますが、子どもたちは、元気いっぱい過ごしています。

先月は、食育活動としてそら豆のさや剥きをしたり、感触遊びとして片栗粉や砂、泥を触って遊ぶ機会を設けてきました。初めて触る感触にびっくり！しばらく遠くから様子を見てすこしずつ触れる子や、手足を汚しながら意欲的に自分からどんどんと触る子など、反応は様々でした。来月からは水遊びも始まります。様々な物に触れてみる経験を多く取り入れ、子どもたちの小さな発見や反応を大事に見守っていきたいと思います。

また、暑い日はシャワーで汗を流したり、汗を書いた衣服を着替える等して、着脱をする機会も多くなっています。だんだんと“自分でやってみたい”という気持ちが見られるようになってきているりすぐみの子どもたち。自分でズボンを持って足を入れようとしてみたり、上着に頭を自分でいれてみようとする子もいます。しかし、ズボンに足がうまく入らなかったり、上着の腕の部分に頭を入れようとしていたりとまだまだうまくいかない事も多いです。そんな時には、さりげなく手伝っていき、出来たことを一緒に喜びながら、“自分で出来た”と満足感を得られることが出来るように関わっています。“自分で出来た”が、次もやってみよう！と子どもたちの意欲につながり、「自分で」という気持ちを育てていくことが出来るといいなと思っています。



【今月のねらい】

- ・保育者や友だちと、感触遊びを経験する。
(水遊び、泥遊び、寒天)

【今月の予定・活動】

- ・感触遊び (水、泥、氷、砂)
 - ・園まわり散歩 ・分園交流
 - ・公園あそび
- (徳石通り南広場、徳丸第二児童遊園)



こんな可愛い姿がありました。

- ・給食のとき、いただきますの挨拶が待ちきれなくて食べ始めているお友だちに、「〇〇くん！〇〇ちゃん！」とお友だちが小さな先生のようになって名前を呼んで、「まだだよ」と伝えているようでした。
- ・給食中に眠たくなってウトウト…しているお友だちがいると、あれ？あっちでもこっちでも目をつぶっている子が！
真似っこしながら薄目で保育者の様子を見ていました。

